

TVセッター

取り付け説明書 TVST - GP136

個人取り付けについて

ご注意



当商品は、DIY（日曜大工）が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。
基本的には、お近くの内装業者・電設業者様へ依頼をされる事をお勧めします。

組立不良・取り付け不良、および天災等による事故等については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

※少しでも取り付けに疑問が生じた場合は、必ずお近くの内装業者・電設業者様にお尋ねください。

組立設置上のご注意

ご注意



テレビと金具を合わせると相応の重量になります。強度のある壁や間柱（壁裏に通っている柱）にしっかりと設置してください。
設置中・設置後共に、怪我やお部屋にキズを付ける事の無いよう、ご注意ください。

- ボルトやワッシャー等のねじ類を含めた部品の取り付けは、正確に行ってください。
- 設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- 以下の場所には設置しないでください。
 - ・湿気や温度の変化の激しい場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・振動などがある不安定な場所
- 電源コードや配線に傷を付ける事の無いように注意してください。火災等、事故の原因になります。

商品には、基本的な必要ネジ類が付属されています。しかし、壁の状態によって別途、アンカー等が必要なケースがあります。

その場合、お客様（販売店・施工店様）がご用意の上、確実な設置を行うようお願いいたします。

※付属のネジ類を使用した設置の強度に少しでも不安を感じた場合、ただちに作業を中止し、上記の対応をしてください。

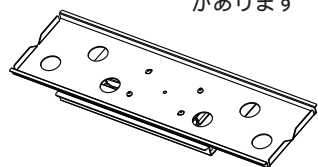
設置後のご注意

- 定期的にネジ類の緩みが無い、壁への取り付けにガタが出ていないか確認してください。

設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー - 壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。細い針やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー - ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー - 電動ドライバーです。手回しのドライバーでも設置可能ですが、あると非常に便利です。
- 4) メジャー - 床からの距離を測ったり、金具の水平を取る場合などに使用場合があります。
- 5) ペン - 壁にネジを打ち込む位置を確定した時にマーキングします。テープ等でも代用可能です。
- 6) 柔らかい布 - 設置の過程で、床やテーブルなどにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。

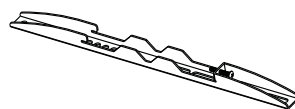
形状が若干異なる場合
があります



a 壁面プレート×1

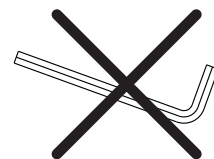


b 左テレビブラケット×1



c 右テレビブラケット×1

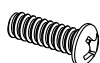
入っていません。



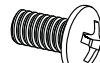
d 六角レンチ×1



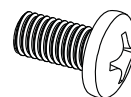
e M4 - 12ボルト×4



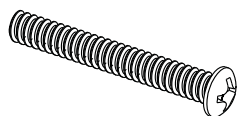
f M5 - 12ボルト×4



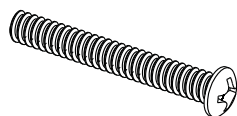
g M6 - 12ボルト×4



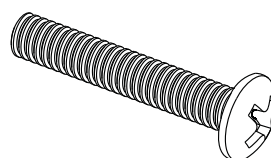
h M8 - 16ボルト×4



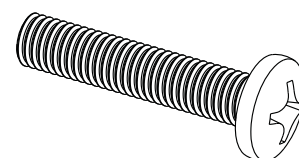
i M4 - 30ボルト×4



j M5 - 30ボルト×4



k M6 - 35ボルト×4



l M8 - 40ボルト×4



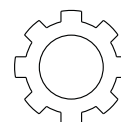
m M4 ロックワッシャー×4



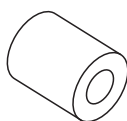
n M5 ロックワッシャー×4



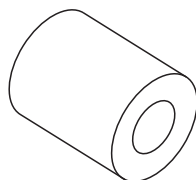
o M6 ロックワッシャー×4



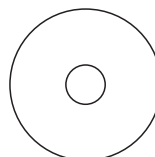
p M8 ロックワッシャー×4



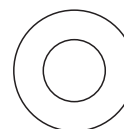
q M4/M5 スペース×4



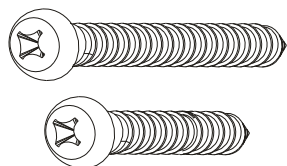
r M6/M8 スペース×4



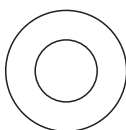
s M4/M5 ワッシャー×8



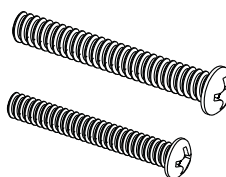
t M6/M8 ワッシャー×4



v 壁面ボルト長×6
壁面ボルト短×6



w 壁面ボルトワッシャー×6



v セイフティボルト長×2
セイフティボルト短×2

ステップ1

テレビブラケットのテレビへの取り付け

テレビの背面に凹凸がある場合、下段にお進みください

左右のテレビブラケットをテレビの背面に取り付けます。取り付ける際に左右上下の確認をしてください。
M4、M5、M6、M8のサイズのネジ穴のテレビに合うよう、それぞれ2種類の長さのボルトが付属しています。
お手元のテレビに合わない場合、ご面倒ですが別途ご用意ください。ワッシャー、ロックワッシャーを使用して固定します。テレビブラケットのネジ穴は複数開いています。ブラケットが最もテレビの中央にくるネジ穴を選ぶと良いでしょう。

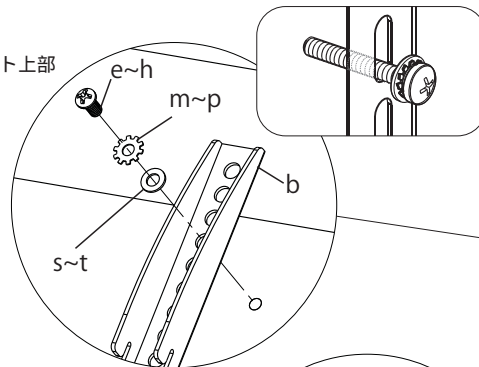
ご注意



壁にネジ穴を開ける前に必ずテレビとテレビブラケットの適合確認・組立を行ってください。

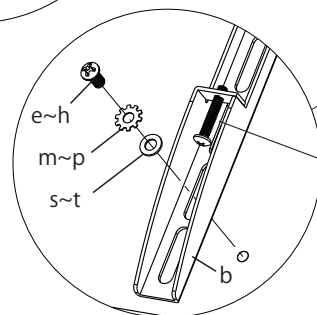
万一、テレビとテレビブラケットがどうしても取り付けできない場合、テレビの壁掛けが出来ません。

テレビブラケット上部



テレビブラケットのネジ穴にネジを通します。
ネジ穴は、ブラケットの位置によって円形ネジ穴と長方形ネジ穴があります。

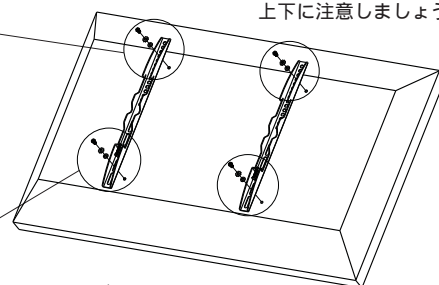
テレビブラケット下部



セーフティボルト (v)

セーフティボルト (v) をブラケットにセットして下さい。
大きいテレビの場合、セーフティボルト長をご利用ください。

テレビ背面
上下に注意しましょう



ご注意

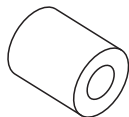


ステップ1

テレビの背面に凹凸がある場合

テレビの背面に凹凸があったり、曲面になっている場合、付属のスペーサー（黒いチューブ）を間にに入れて設置します。取り付けの際に左右上下の確認をしてください。
M4、M5、M6、M8のサイズのネジ穴のテレビに合うよう、それぞれ2種類の長さのボルトが付属しています。
お手元のテレビに合わない場合、ご面倒ですが別途ご用意ください。ワッシャー、ロックワッシャーを使用して固定します。テレビブラケットのネジ穴は複数開いています。ブラケットが最もテレビの中央にくるネジ穴を選ぶと良いでしょう。

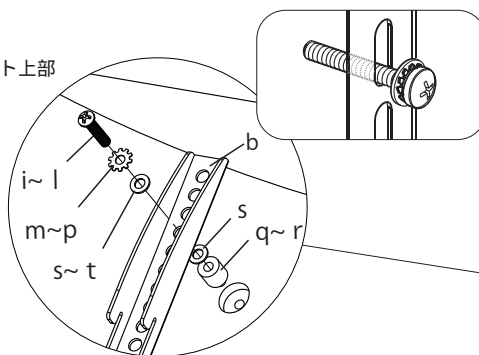
q、r



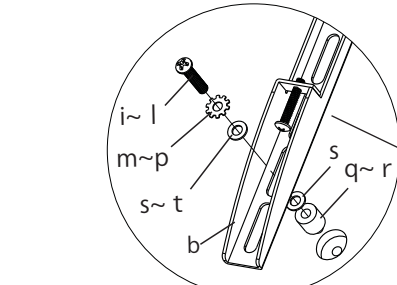
スペーサー

黒いプラスチックのチューブです。これを金具とテレビの間に入れる事で、テレビ背面の凹凸や曲面に対応します。

テレビブラケット上部



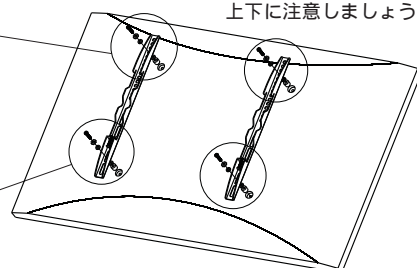
テレビブラケットのネジ穴にネジを通します。
ネジ穴は、ブラケットの位置によって円形ネジ穴と長方形ネジ穴があります。



セーフティボルト (v)

セーフティボルト (v) をブラケットにセットして下さい。
大きいテレビの場合、セーフティボルト長をご利用ください。

テレビ背面
上下に注意しましょう



ご注意



テレビブラケット下部

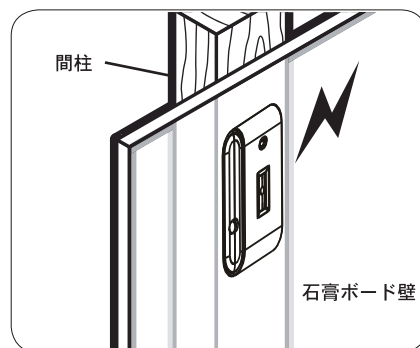
ステップ2 RC 構造（コンクリート）壁への取り付け



テレビ壁掛けの最重要ステップです。
取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。
壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は「補強度のある壁」か、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行います。
補強壁を使用する場合は、厚さ2センチ程度が良いでしょう。
石膏ボード壁の場合、壁裏の間柱を見つける必要があります。ホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。石膏ボード部のみへのネジ打ち設置は絶対にやめてください。



●一般的石膏ボード壁の場合
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央を見つけましょう。

●間柱を見つけたら

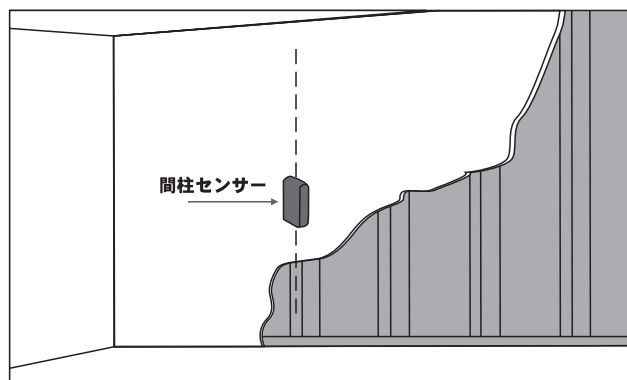
間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

●コンクリートやレンガ壁について

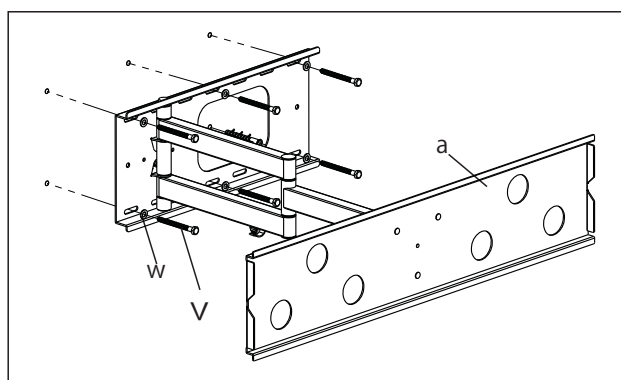
コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は行わないようにしてください。

ステップ2 間柱スタッド（補強不要）壁への取り付け

石膏ボード等の壁の場合、壁の裏側に間柱（スタッド）があれば設置可能です。くれぐれも間柱が無い石膏ボードへの設置はお控えください。壁の強度不足で落下の危険が生じます。
間柱センサー（壁裏に間柱があるかを電氣的に調べる道具です。ホームセンター等で比較的安価で販売されています）やキリ等で壁裏の間柱を見つけ、そこに上下4～6箇所に均等になるようにドライバー（電動ドライバー）で壁面プレート（a）を壁に取り付けます。



間柱（スタッド）センサーやキリ等を使って、石膏ボード等の裏にある間柱を見つけましょう。間柱に対して壁面ボルト（v）を打ち込まないと十分な強度が得られません。



付属の壁面ボルト（v）の内、よりしっかりと打ち込める物を選んで壁面プレート（a）を壁に取り付けます。

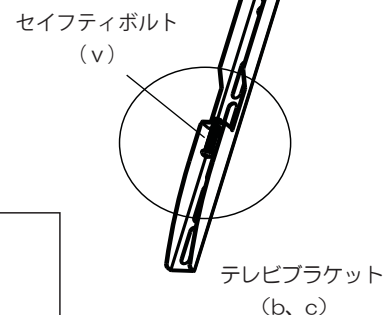
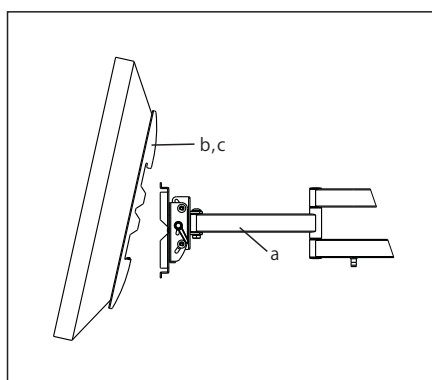
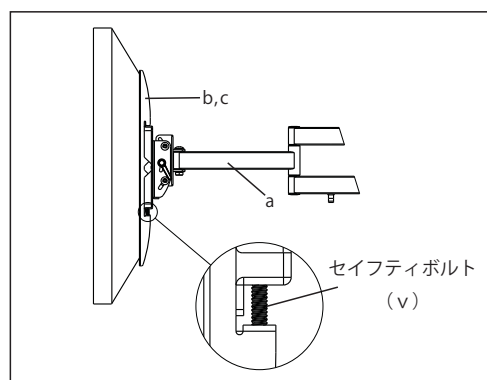
ご注意



少しでも設置に違和感を感じた場合、設置を中断し専門業者に相談してください。
施工される壁の状態によって付属の壁面ボルトが合わない場合もございます。
その場合は、実際の壁に即したネジ類を別途ご用意ください。

ステップ3 テレビと壁面プレートの取り付け

左右のテレビブラケット（b、c）と壁面プレート（a）を固定するため、セーフティボルト長（v）もしくはセーフティボルト短（v）を2本、左右のテレビブラケット下部に固定しているかご確認ください。
※大きいテレビの場合、セーフティボルト長をご利用ください。

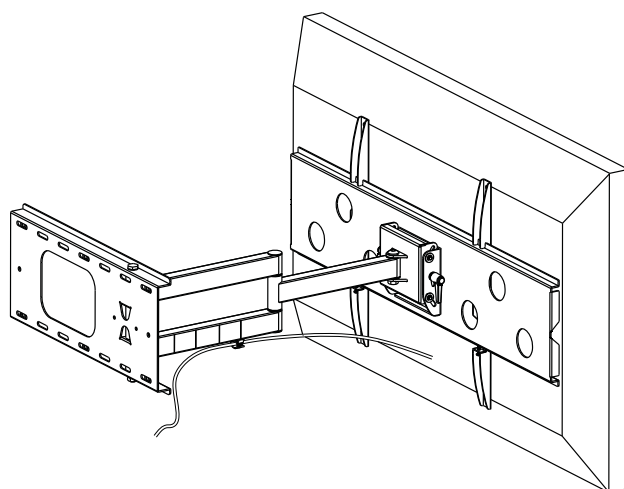


左右のテレビブラケット（b、c）の上部を壁面プレート（a）の上部に引っ掛けます。
この作業の前に、テレビ側の必要な配線の取り付け処理をしておきましょう。

ゆっくりと、テレビを壁側に下し、左右のテレビブラケット（b、c）の下部を壁面プレート（a）の下部に合わせます。この際、取り付けた配線が無理に折れ曲がらないように取りまわしてください。
先ほど取り付けしたテレビブラケットの下部にあるセーフティボルト（v）を
プラスドライバーで締めて、確実にテレビが壁面プレート（a）に固定された事を確認します。

ステップ4 配線の取り回しについて

図のように金具に付いているコード止めを利用して、配線を綺麗に取りまわしてください。コード止めは強く引っ張ると取れますが、金具の穴に押し込めば、再度取り付け出来ます。



※配線の取り回し例

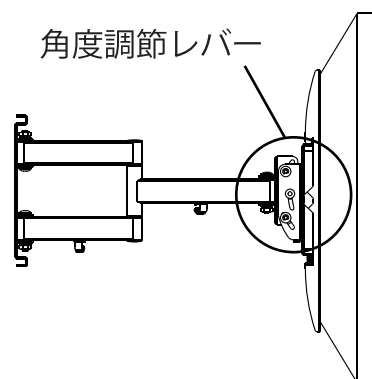
ステップ5 角度調節について

左右の角度調節について

- 左右の角度調節は、テレビをしっかりと持って、ゆっくりと調節してください。無理に急いで調節しようとすると配線が外れたり、壁面に余計な負荷がかかったりしますので、お止め下さい。
- 左右の角度調節の範囲は、お持ちのテレビの大きさによって変わります。大型テレビの場合、アームを最大限に伸ばして調節ください。

上下の角度調節について

- 上下の角度調節は、壁面プレートに付いている左右のレバーを操作する事で行います。



- レバーの操作方法



- 左右の角度調節レバーを緩めて、金具の上下角度を行ったら、レバーを左右とも締めます。

- ネジが空回りする場合

ハンドルを手前に引き反時計回りに回しきってください。その後、ハンドルを奥に戻した状態で逆方向にハンドルを回すとネジが締まります。テレビを外した状態で調整してください。

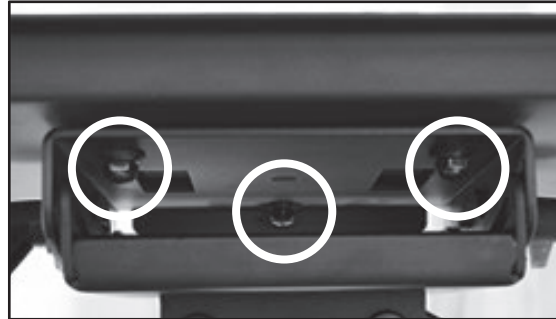
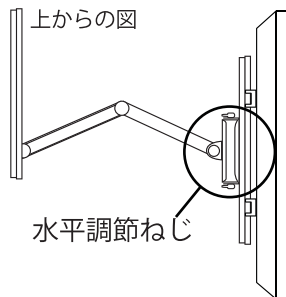


水平調節について

- 水平が気になる場合、アームとテレビプレートの接続部にある六角ねじ3点で調節します。

水平調節ネジを市販の10mm スパナを使用して緩めて調節してください。

調節後、緩めたネジをしっかりと締めて固定してください。



ご注意

水平調節ネジは緩めすぎると外れます。テレビを支える人と調節する人の2名様以上で作業を行ってください。

ステップ6

最終確認

ご注意



最終的にしっかりと組立・取り付けが行われているか確認してください。

少しでも不安点があった場合、お近くの内装業者・電設業者様にチェックの依頼をしてください。